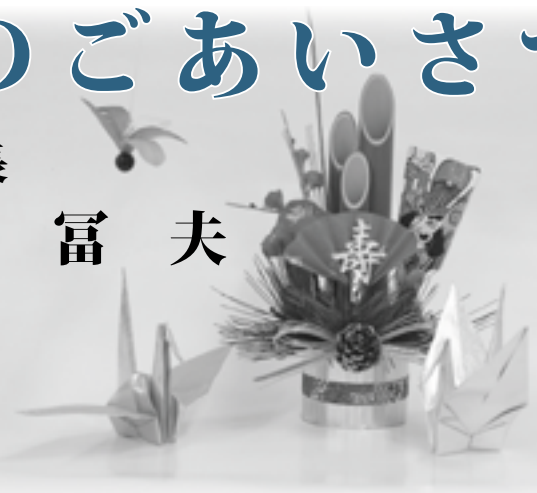


# 新春のごあいさつ

周防大島町長

中本 富夫



謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えになられたことと存じます。常日頃から町政の推進につきましまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の社会情勢は回復基調にあるといわれるものの、国全体では依然として厳しい財政状況にあり、各種の構造改革への取り組みにより硬直化した財政の立て直しを迫られております。

このような状況にあつて、大島郡四町が新たな枠組みでの合併から早三年余りを経過いたしました今日、合併の真価が問われる中で、地方自治の新たな時代を切り拓き、複雑・多様化する住民ニーズに因應するためには、これまでの「画一」、「一律」、「硬直」から脱皮し、真に町民の幸せと町勢の発展を目指していかねばなりません。

このため、実施可能なものについては早期に実行に移し、また改革の着実な推進を図るため、本町の公共事業評価による事業コストの削減や行政組織機構改革、集中改革プラン及び指定管理者制度の導入によって民間活力を活かしながら、地域特性を生かした町政運営に取り組んでいるところであります。

私も新生「周防大島町」の初代町長に就任して、今年の十一月には一期四年の任期を迎えます。合併前、旧町からの引き継ぎ事業でありました最新の設備を備えた「大島斎場」が、昨年の四月から供用開始いたしました。七月には「なみだ船」、「アンコ椿は恋の花」などのヒット曲で知られる本町出身の作詞家・星野哲郎先生を顕彰する記念館が、東和総合支所と併設して竣工し、星野先生をはじめ日本歌謡界最高峰の演歌歌手をお迎えしてオープンいたしました。これからも星野先生の歌とその偉業が末永く多くの国民に愛されますようお祈りするものであります。

供用開始が急がれておりました「周防大島町環境センター」（一般廃棄物最終処分場及びリサイクルセンター）が昨年の十二月に竣工し、ごみの適性処理や適切な分別による再資源化など、環境にやさしい共生社会の創造を目指し、本年三月から本格稼働となります。また、山口県が建設中の「大島防災センター（仮称）」が、本年中に久賀庁舎東隣に完成予定となっております。防災拠点施設として地域の防災体制の充実強化と、住民の安心・安全の確保に努めて参りたいと思っております。

これからも、町民の皆様方との相互理解を深め手を携え、明るく安心して快適な暮らしができるまちづくり、粉骨砕身努力して参る所存でございますので、何とぞ格別のお力添えをお願い申し上げます。

終わりに、新しい年が町民皆様にとって、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。